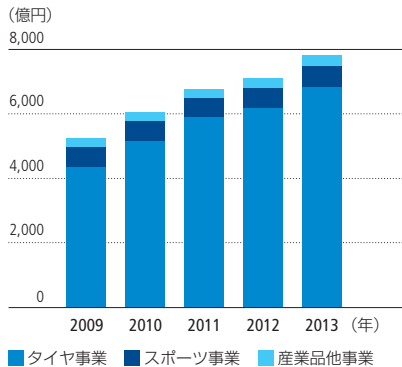


2013年ハイライト

売上高

7,806 億円

+9.9%
前期比

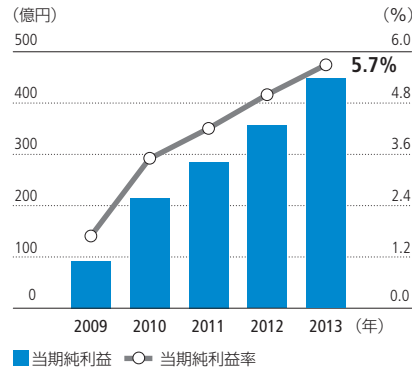


売上高は、主力のタイヤ事業において国内市販用および海外新車用・市販用タイヤの販売を伸ばしたことから、前期比9.9%増の7,806億円となりました。

当期純利益および当期純利益率

448 億円

+26.4%
前期比

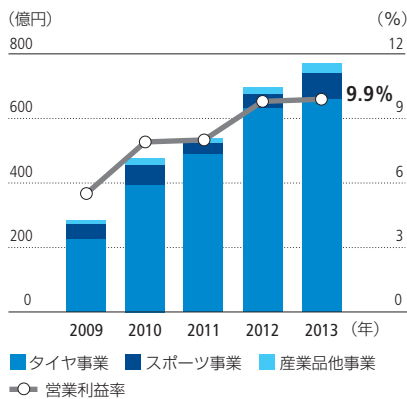


当期純利益は、営業利益の増加に加え、持分法による投資損益・減損損失が改善したことなどにより、前期比26.4%増の448億円となりました。

営業利益および営業利益率

771 億円

+10.5%
前期比

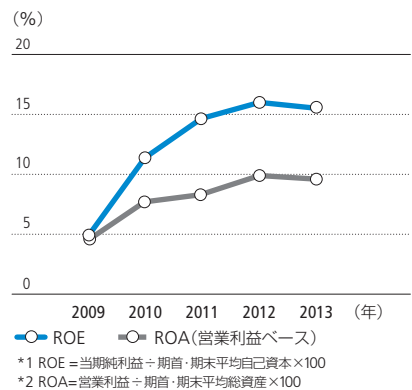


営業利益は、売上高の増加に加え、主力のタイヤ事業において原材料価格が下落し、為替の円安影響もあり、前期比10.5%増の771億円となりました。

ROE*1およびROA*2

15.6% **-0.4pt**
ROE 前期比

9.6% **-0.3pt**
ROA 前期比



ROEは自己資本が大幅に増加したことから前期比0.4ポイント減少し、15.6%となりました。ROAは営業利益が増加したものの、総資産も増加したことにより0.3ポイント減少し、9.6%となりました。

*1 ROE = 当期純利益 ÷ 期首・期末平均自己資本 × 100
*2 ROA = 営業利益 ÷ 期首・期末平均総資産 × 100

2013年2月

タイヤ プレミアムコンフォートタイヤ「VEURO VE303」を発売



3月

タイヤ トラック・バス用低燃費オールシーズンタイヤ「エナセーブSP688」を発売

スーパーコンピュータ「京」を活用し、タイヤ材料内部を忠実に再現する大規模分子シミュレーションを開始

産業品 住宅用制震ユニット「MIRAIE・2×4 [ミライエ・ツーバイフォー]」を発売

4月

タイヤ タイにモーターサイクル用ラジアルタイヤ生産設備の新設を決定

5月

タイヤ 高純度天然ゴム「UPNR (Ultra Pure Natural Rubber)」(特許取得済*1)を開発

*1 良好なゴム物性発現のために必要な、特定の不純物除去を行った天然ゴム組成物およびその製法について特許を取得 (特許第4598853 他)

7月

タイヤ ダンロップの「WINTER MAXX (ウインターマックス)」が顧客満足度93%を獲得

9月

タイヤ SUV用スタッドレスタイヤ「WINTER MAXX SJ8 (ウインターマックス エスジェイエイト)」を発売

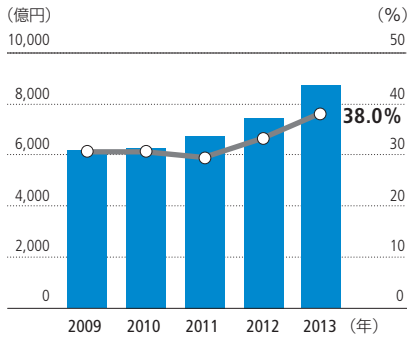
タイヤ トルコ工場の建設を開始



「トルコ工場 完成予想図」

総資産および自己資本比率

8,675 億円 **+1,299** 億円
前期比

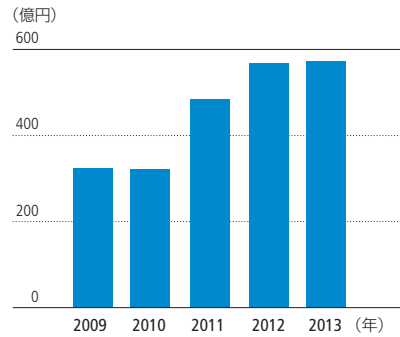


■ 総資産 ○ 自己資本比率

総資産は、受取手形・売掛金等の流動資産が増加したほか、設備投資により有形固定資産が増加したことから、前期末比1,299億円増の8,675億円となりました。

設備投資額

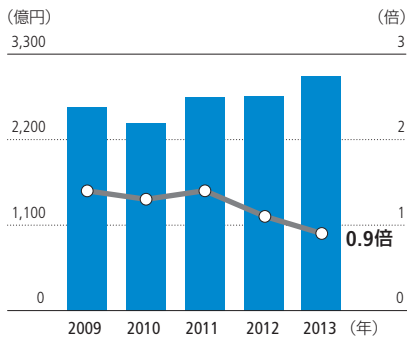
573 億円 **+4** 億円
前期比



設備投資額は、前期比4億円増の573億円となりました。主な内容は、タイヤの生産能力増強のための投資です。

有利子負債残高およびデット・エクイティ・レシオ

3,021 億円 **+262** 億円
前期比

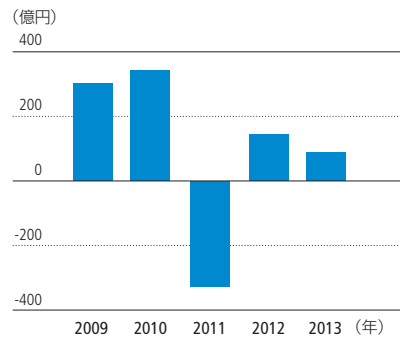


■ 有利子負債残高 ○ デット・エクイティ・レシオ

有利子負債残高は前期末比262億円増加しましたが、デット・エクイティ・レシオは自己資本の増加により0.9倍と0.2ポイント改善しました。

フリー・キャッシュ・フロー

87 億円 **-57** 億円
前期比



フリー・キャッシュ・フローは、主に税金等調整前当期純利益や減価償却費の増加などにより、87億円のプラスとなりました。

10月

タイヤ ブラジル工場の開所式を実施



産業品 独自の高減衰ゴムを採用した既存住宅用制震ユニット「MIRAIE・リフォーム」を発売

11月

タイヤ 100%石油外天然資源タイヤ「エナセーブ 100」を発売



タイヤ 「50% 転がり抵抗低減タイヤ」、次世代新工法「NEO-T01 (ネオ・ティーゼロワン)」により製造されたプレミアムランフラットタイヤのプロトタイプタイヤを発表



12月

タイヤ Apollo Tyres South Africa社の買収により、南アフリカにタイヤ製造拠点を獲得

スポーツ ゼクシオゴルフクラブの8代目「ゼクシオ エイト」を発売

